

岩手県南広域振興局長 様

提出者

住所 岩手県奥州市水沢工業団地二丁目37番地

氏名 株式会社ミズサワセミコンダクタ

代表取締役 柳田 雅紀

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	株式会社ミズサワセミコンダクタ	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県奥州市水沢工業団地二丁目37番地	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,920 k1	*施設番号	
自動車の使用台数	4 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
株式会社ミズサワセミコンダクタ	岩手県奥州市水沢工業団地二丁目37番地	1,920 k0
		k0
		k0

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に(別途)域覧を作成の上、添付してください。



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E-B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量								
	数値 A	単位	数値 B	数値 C	単位	数値 D					
原油(コンデンセートを除く)		kL				kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL				kL					
揮発油(ガソリン)		kL				kL					
ナフサ		kL				kL					
ジェット燃料		kL				kL					
灯油	1.5	kL	55			kL	55	4	0	4	
軽油		kL				kL					
A重油	60	kL	2,334			kL	2,334	165	99	66	
B・C重油		kL				kL					
石油アスファルト		t				t					
石油コークス		t				t					
化石燃料	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	2.3	t	115		t	115	7	5	2
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³				
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t				
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³				
		石炭	輸入原料炭		t			t			
		原料炭	コークス用原料炭		t		t				
			吹込用原料炭		t		t				
		一般炭	輸入一般炭		t		t				
			国産一般炭		t		t				
			輸入無煙炭		t		t				
	石炭コークス		t			t					
	コールタール		t			t					
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
	高炉ガス		千m ³			千m ³					
	発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
	転炉ガス		千m ³			千m ³					
	都市ガス		千m ³			千m ³					
		その他の燃料()									
		()									
非化石燃料	黒液		t			t					
	木材		t			t					
	木質廃材		t			t					
	バイオエタノール		kL			kL					
	バイオディーゼル		kL			kL					
	バイオガス		千m ³			千m ³					
	その他バイオマス		t			t					
	RDF		t			GJ/t					
	RPF		t			GJ/t					
	廃タイヤ		t			GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
	廃油		kL			GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
混合廃材		t			t						
水素		t			t						
アンモニア		t			t						
その他燃料()											
小計①							2,504	176	101	72	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
	温水		GJ			GJ					
	冷水		GJ			GJ					
	地熱		GJ			GJ					
	温泉熱		GJ			GJ					
	太陽熱		GJ			GJ					
	雪氷熱		GJ			GJ					
小計②											
電気	電気事業者①	8,322	千kWh	71,905		千kWh	71,905	3,346	4,258	-912	
	電気事業者②(重複数契約している場合使用)		千kWh			千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh				
		水力		千kWh			千kWh				
		風力		千kWh			千kWh				
		その他		千kWh			千kWh				
小計③						71,905	3,346	4,258	-912		
合計 ④=①+②+③						74,409	3,521	4,362	-841		

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	1,920	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	3,521	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合計		3,521	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

- 原油換算エネルギー使用量 '23年度実績:2,029kL の維持継続 ('24~'26年度)
⇒'23年度までに 改善効果が大い目玉となるような施策の展開は済みとなることから 今後においては 継続取り組み可能な改善施策の継続により '23年度実績(2,029kL)の維持を目標として取り組みたい
- 原油換算エネルギー使用量 '24年度実績:1,920kL ※'23年度実績より▲109kL
⇒'24年度は'23年度と比較して A重油の使用量が大きく増加した
※A重油使用量 … '23年度実績:36kL → '24年度実績:60kL (前年度実績+24kL)
これは 昨今の気候変動に伴う 猛暑と厳冬により 空調用の冷温水発生機の稼働が増加したことが主要因

一方 電気使用量において '24年度は'23年度と比較して 大きく減少した
※電気使用量 … '23年度実績:8,928千kWh → '24年度実績:8,322千kWh (前年度実績▲606千kWh)
これは 非稼働設備のタイムリーな電源OFF・Air-OFF 休憩時等の不要照明の電源OFF 継続対応中と併せて 省エネ対応(省電力・エコ活動)/照明器具の切替(蛍光灯⇒LED) が影響しているものと推察する
※環境目標を策定し PDCAサイクルを回しながら 改善活動を継続中

【具体的な取組状況】

- ・省エネ対応(省電力・エコ活動)/照明器具の切替(蛍光灯⇒LED)
⇒環境目標(数値目標)を策定 PDCAサイクルを回しながら 改善活動を継続中
- ・空調室外機へのミスト散水装置導入
⇒夏場の省エネ施策
- ・旧式コンプレッサを新式へ入替
⇒大幅な電気使用量削減に寄与
- ・非稼働設備のタイムリーな電源OFF・Air-OFF 休憩時等の不要照明の電源OFF(継続対応中)
- ・生産設備/付帯設備(空調設備 等)の定期的なメンテナンス実施(継続対応中)
- ・省エネ設計設備導入検討 生産効率改善による省エネ展開(継続対応中)
- ・デマンドメータ導入によるタイムリーな使用電気量のモニタリングと装置毎の消費電力量(kWh)把握(継続対応中)
⇒フロア毎 装置毎に 使用電力量を把握し 優先順位をもって電力の計画停止を実施
- ・装置の稼働時間帯調整による電力使用量平準化(継続対応中)
⇒昼間の電力使用量が多くなることから 夜間に稼働可能な装置については昼間計画停止を行い 夜稼働
- ・未使用フロア空調設備の停止(継続対応中)
- ・直射日光が当たるエリア/窓への遮断シート設置済(継続対応中)

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・プラスチック廃棄物の3R化推進 ⇒ 廃棄物→有価物化の展開:塩化ビニル系プラスチック廃棄物の有価物化 実現
環境目標_プラスチック資源の有価売却率:50%以上
- ・環境教育/啓蒙の充実化 ⇒ 社内認識教育(1回/年)等の施策による充実化
- ・環境活動への積極的参加・利害関係者との協調 ⇒
 - ①地球環境活動(工業団地・地区など)への参加:工業団地大清掃活動への参加(2回/年)
 - ②環境新聞発行による環境情報の発信:環境新聞の発行・発信(4回/年 以上)
- ・環境目標_制御機器の廃棄の削減:故障廃棄の回避_処置率50%以上
- ・環境目標_紙使用量の削減:部門紙資料量の削減(対前年度平均の95%) 等